

2016  
2015  
4 / 1

# 府職の友

発行所／大阪府関係職員労働組合  
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59  
電話 06(6941)0351・内線3740  
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541  
Eメール info@fusyokuro.gr.jp  
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp  
発行人／有田 洋明 編集人／樋口 浩之  
（一部10円）組合員の購読料は組合費に含まれています。

予告  
**府職労ボウリング大会**  
6月12日(金)  
19時スタート  
心齋橋サンボウル



## 大幅賃上げで 大阪を元気に!

# 働きやすい職場を！

3月27日、府当局は「2015年度要求書」（2月13日提出）に対する回答を行いました。府職労は、職場から寄せられた切実な要求を背景に、その実現を迫りました。

### 「給与制度の総合的見直し」 2%賃下げは撤回せよ

府職労の粘り強いたたかひによって、7年間続いた賃金カットを終結させ、2年連続の賃上げを実現することができました。しかし、府当局は、国の押しつける「給与制度の総合的見直し」による2%の賃下げ（2015年4月より）を経過措置もせずに強行しました。府職員の賃金水準を引下げるとは、民間賃金

にも悪影響を与え、大阪経済をいっそう深刻化させるものです。

府職労は、2%賃下げをただちに撤回することも、優秀な職員を確保する観点からも、初任給を含む青年層の賃上げ、非正規職員の賃上げ、消費税増税や物価上昇を上回る実質賃金引上げにつながる賃上げを強く求めました。また、給与制度改悪による2級・3級の最高号給に多くの職員が滞留している問題の解決や再任用職員の賃金水準の引上げも求めました。

### 賃金カットは二度と あってはならない

府職労は、府当局が発表した「中長期試算（粗い試算）」で、平成28年度の「要対応額」が810億円に積み増しされている点を指摘し、「財政難」や「財源不足」を理由にした賃金カットは二度とあってはならないと追及しました。

大阪府の2015年度当初予算は「カシノ」や「万博」、不要不急のインフラ整備などを盛り込んだ過去最大の規模となっています。過去最大規模の予算を組み合わせながら「要対応額」を

上積みし、職員に負担を強いることは断じて許されません。

### 「百書あって一利なし」 相対評価は直ちに中止を

相対評価が強行され、来年度からは相対評価結果の昇給への反映も強行されました。現在も職場からは不安や不満、怒りの声が多く出されています。評価者からも「相対評価では正しい評価はできない」「職員のモチベーションを維持することは困難」という声が続出しています。府職労は、府当局が行った「検証結果」にもとづき、ただちに相対評価の撤回、給与反映を中止するよう求めました。

### 人員削減で限界職場に 必要な人員配置を

ここ数年、職員の時間外勤務は増加の一途をたどり、年間360時間以上の時間外勤務をしている職員も増えています。厚生労働省が過労死ラインとする月80時間の時間外勤務をしている職員も多数います。

府職労は、労働基準法を遵守するとともに、過労死等防止対策推進法が成立したことに触れ、職員のい

のちと健康を守るためにも、時間外勤務の上限規制、当面360時間規制を徹底するよう迫りました。

### 職員の健康管理と 福利厚生の実現を

府職労は、職員の健康管理充実の観点から、人間ドックの拡充、55歳以上の職員を対象とした「55セルフドック」の平等な取扱いの解消、安全衛生協議会の毎月1回の開催の徹底、職

員50人未満の職場でも、「安全衛生委員会」に準じた話し合いの実施など、労働安全対策の強化を求めました。

また、中原教育長のパワーハラスメントが認定され、辞職に追い込まれた問題にも触れ、「橋下大阪市長が『言うことを聞かない部下が悪い』というような発言もしているが、住民や現場の意見を自由に言うことは必要なことである」としてハラスメント防止の啓発をあらためて徹底するよう求めました。



## 働きやすい職場とやりがいある仕事のために みんな府職労に加入しよう

大阪府の職場で働くすべてのみなさんに大阪府関係職員労働組合（通称：府職労）の加入を心から訴えます。府職労は、府職員だけでなく、非常勤職員や独立行政法人の病院、研究所などに働いている方なら誰でも加入できます。

この間、大阪府は「全国一スリムな自治体」をめざし、あらゆる職場で職場実態や業務量を見直したトップダウンによる人員削減をすすめています。また、知事部局では相対評価も導入され、民主的な「風通しの良い」職場が壊され、自由に意見を出し合えない状況も生まれつつあります。

私たちが住民全体の奉仕者として仕事をするには、安心して働き続けることのできる職場をつくるのが大切です。トップダウンの府政運営を許していれば、職場で自由に意見を言うことも許されず、パワーハラが横行するなど、どんどん働きづらくなります。

やりがいのある仕事、働きやすい職場のために、みなさん府職労に加入しましょう。

## 4・12 大阪府議会・大阪市議会議員選挙 必ず投票に行こう！

4月12日に行われる大阪府議会・大阪市議会議員選挙の結果は、私たちのくらしはもちろん、仕事や職場にも大きく影響します。やりがいのある仕事と働きやすい職場をつくるためにも、必ず投票しましょう。

## 遊歩道

新年度がスタートした。ピカピカの1年生が胸躍らせて学校へ行く時期だ。昭和初期の小学校では「サイタイサイタクラガサイタ」で知られる、いわゆる『サイクラ本』（1933〜40年迄使用された教科書）で国語の授業が行われていた。「サイクラサイラ…」に続き「ススメススメヘイタイススメ」と書かれてある。その後『アサヒ読本』（1941〜45年使用）になると「ヒノマルノハタバシサイバンザイ」と軍国教育がいっそう色濃くなっている。また中学校以上の学校には、軍刀を持った現役陸軍将校が配属されるようになり、射撃や武器の使用方に加え、「朕は汝ら軍人の大元帥なるぞ」と謳う「軍人勸諭」を暗記させるなど、天皇への忠誠を誓うための思想教育を行った▼軍国教育で子どもたちは「お国のため」に命も惜しまない人間に教育され、その結果多くの尊い命が失われた。また、生き残った人は、軍国教育を擦り込まれたために、それが間違いであると認識するまで、見るもの聞くこと全て受け付けなくなる人も多かったようだ。戦争による犠牲者を二度と出さないためにも戦争を起してはならない（H）